

## ◆ 平成29年度 活動報告シート ◆

団体名：ウェルカムコアジサシ

20A-57

代表者：代表 久川雅大

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

絶滅危惧種であるコアジサシの営巣地は県内でも極めて限られている。レイクタウンでは、2014年に駐車場と造成地で営巣・繁殖している。大規模調節池にはその後も採餌に来ているので、東京の森ヶ崎水再生センターや宮崎県の一ツ葉入り江のように、レイクタウン付近の屋上あるいは池に営巣地を設営して、コアジサシが繁殖できる場所を提供し、人と野鳥が共生できる環境を作り出しコアジサシを絶滅することのないようにする。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

9月19日(会議) 10名出席 レイクタウンエコウィークに掲示するコアジサシパネル、会の紹介リーフレット、パタパタコアジサシなどの作成について検討した。

10月10日(会議) 8名出席 広報活動の一環として、ブログを作成すること試作した会のロゴシールについて検討した。

10月20日～22日 6名参加 LakeTown Act Green ECOWEEK 2017に参加し、パネル展示と活動紹介、パタパタコアジサシの作り方の指導などを行った

11月20日(会議) 7名出席 エコウィークの総括、大規模調節池に浮かべる試作いかだの詳細図、浮かべる位置、管理体制について検討した。

12月11日 6名参加 いかだを浮かべる場所の確認

12月18日(会議) 7名出席 試作いかだを見てもらう。

1月16日～19日 6名参加 試作いかだを大規模調節池に浮かべた。



### 3. 活動の成果



レイクタウンのエコウィークにて、コアジサシについて詳しく解説したパネルを設置し、リーフレットを配布してたくさんの方にコアジサシのことを知ってもらうことができた。

また、子供達には「パタパタコアジサシ」を作ってもらい、南半球からはるばる日本にやってくるコアジサシという鳥に関心をもってもらえた。

### 4. 今後に残された課題



今回は、試験的に営巣地用のいかだを浮かべる許可しかもらえなかった。その理由に、以前水質浄化を目的に植物を植えたいかだを浮かべた団体があったが、そのいかだが流れ出した時に、公園緑地課がクレーンで後始末をせざるを得なかったということが原因のようだった。

今後、永続してコアジサシが営巣できる場所を探して、繁殖できるような環境を作っていきたい。